

## 神戸・新潟から海外へ、震災を語り継ぐ

各国の防災専門家や研究者等、20名がスタディーツアーに来日

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は「21世紀東アジア青少年大交流計画」（JENESYS Programme）次世代リーダープログラムの一環として、「防災と人々のつながり：防災に強い社会の構築を目指して」をテーマに、対象国のコミュニティーの将来を担う若手の NGO・教育関係者、行政官、研究者等 20名を 14カ国から招へいします。

近年、東アジア・東南アジア地域では大規模な災害が起こっており、その被害は甚大なものとなっています。一方、日本は歴史的に自然災害を多く経験し、そのたびに自然との共存と社会の安全を守ろうとする取り組みを重ねてきました。

このスタディーツアーでは、特に防災意識、そして復興努力を高める上での「人々のつながり」に着目。日本における先駆的な防災の取り組みを視察するとともに、神戸市、新潟県山古志地区など、被災地の人々と被災経験を語りあいます。

招へい期間 2010年6月21日（月）～7月2日（金） 12日間

14カ国、20名の招へい国/人数

インド/2名、インドネシア/2名、カンボジア/1名、タイ/2名、韓国/1名、中国/1名、フィリピン/1名、ブルネイ/2名、ベトナム/2名、マレーシア/1名、ミャンマー/1名、ラオス/1名、オーストラリア/2名、ニュージーランド/1名

視察・訪問内容 NPO「ア！安全・快適街づくり+広域ゼロメートル市街地研究会」東京荒川地域コミュニティー訪問（6/23） / 兵庫県庁表敬（6/24） / 神戸市役所訪問「大都市地震の経験と対策」（6/24） / アジア防災センター訪問（6/25） / 人と防災未来センター訪問（6/25） / 神戸（野田北地区・琵琶町地区）地域の取り組み（6/26） / 新潟県庁表敬「中山間地域における震災の経験」（6/28） / （社）中越防災安全推進機構訪問（6/29） / 新潟県山古志地区訪問・住民との交流（6/29）

<p>ワークショップ「日本の防災と復興経験」 （講師 近藤民代/神戸大学大学院准教授）</p> <p>日時 2010年6月22日（火） 10:30～12:00（使用言語 英語）</p> <p>会場 国際交流基金本部（東京都）</p>	<p>総括ワークショップ 「東アジア地域における今後の防災への取り組み」</p> <p>日時 2010年7月1日（木） 10:00～（使用言語 英語）</p> <p>会場 国際交流基金本部（東京都）</p>
--	---

スタディーツアー・ワークショップは非公開ですが取材は歓迎致します。  
担当まで事前にご連絡をお願いいたします。

お問い合わせ：国際交流基金 日本研究・知的交流部 アジア太平洋州チーム 担当：稲見（いなみ）  
電話 03 5369 6070 FAX:03 5369 6041 E-mail: Ayano\_Inami@jpf.go.jp